

平成 1 3 年度 事業報告書

(財) 滋賀県水産振興協会

平成 1 4 年 7 月

1 事業結果概要

1.1 温水魚資源対策

1.1.1 ニゴロブナ資源増大対策事業

ニゴロブナ資源量の急激な減少に対処して、資源の維持増大を図るため、種苗の生産放流を国庫補助対象事業として実施した。特に放流効果を向上させるため、大型種苗を生産し、目標を上回る数量を放流した。

事業目標 国庫補助事業の長期計画にもとづき、全長20mmサイズ4,500千尾、50～80mmサイズ700千尾、120mmサイズ605千尾を放流目標とした。(計5,805千尾)

放流の実績 生産放流時期 平成13年4月～平成14年3月

放流尾数	全長 25 mm サイズ	5,126千尾
	全長50 mm～70 mm サイズ	1,004千尾
	全長 95 mm サイズ	769千尾
	計	6,899千尾

放流効果確認実証調査 従来から本調査は水産試験場と共同で実施し、効果の確認実証に努めた。

平成13年度放流魚混獲率(小糸漁獲魚)	34%	(途中結果)
(参考)平成12年度	”	33%
平成11年度	”	38%

放流魚の混獲率は、平成12年度同様、高いレベルになっており、放流種苗の大型化の効果と見られる。

栽培漁業推進、普及啓発事業 栽培漁業推進協議会の運営、中間育成技術現地研修会の開催、つくり育てる漁業の啓発等に努めた。

1.1.2 ホンモロコ資源増大対策事業

ホンモロコ資源の回復を図るため、種苗生産放流事業を県費助成をうけて実施した。増殖効果の高い大型種苗を放流した。

事業目標 全長20mmサイズ、2,000千尾を放流目標とした。

放流の実績

生産放流時期	平成13年4月～7月
放流尾数	全長20mmサイズ 2,550千尾

1.1.3 沿整増殖場管理事業（県委託事業 年間）

ホンモロコ、ニゴロブナ等温水魚の繁殖を保護助長するため県が沿岸漁場整備開発事業で設置した13ヶ所の増殖場施設を、その有効適切な活用に資するため、県の委託を受けて定期点検管理を実施した。

1.1.4 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業 4月1日～8月10日）

ニゴロブナ、ホンモロコ等の産卵繁殖を保護助長するため、湖北町及び近江八幡市地先に県が指定する保護水面の監視、管理、清掃等の業務を、県の委託を受けて実施した。

1.2 鮎資源対策

1.2.1 アユ人工河川運用事業（県委託事業 年間）

琵琶湖総合開発後の水位変動に対応して鮎資源の維持培養を図るため県が設置した姉川、安曇川の人工河川施設を県の委託を受けて管理運用し鮎資源の増殖に努めた。

アユ親魚の養成確保（5月～10月）両人工河川養成池で親魚13.2t生産人工河川産卵床へ親魚放流、産卵孵化、仔魚流下等の管理（8月末～11月）

親魚放流量 13.2t + 1.8t（天然遡上親魚等） = 15.0t

流下仔魚数 26.1億尾

両人工河川の通年維持管理

1.2.2 アユ保護水面管理事業（県委託事業7月23日～12月10日）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定した保護水面区域（8河川）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵孵化を妨げる行為の未然防止の為、監視等を行った。

1.2.3 アユ親魚増殖放流事業（県補助事業）

県下のアユ産卵重要河川へ養成アユ親魚7.5tを放流して、アユ資源培養に努めるとともに琵琶湖漁業の振興とアユ苗の安定的供給を図った。

1.2.4 アユ産卵場造成事業

アユ保護水面区域(8区域)において、産卵場を耕耘することにより、産卵に適した河床を造成した。

1.3 情報提供事業

漁業者等に水産情報を始め各種の情報提供、交換に努めた。

2 貸借対照表

平成 14 年 3 月 31 日

単位:円

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	5,080,560		
有価証券	855,374		
未収入金	2,953,000		
流動資産合計		8,888,934	
固定資産			
基本財産			
投資有価証券	11,000,000		
基本財産合計	11,000,000		
その他の固定資産			
建物	243,986,375		
構築物	423,971,700		
車両運搬具	6,647,055		
什器備品	103,912,243		
船舶	7,700,000		
減価償却累計額	403,699,079		
電話加入権	257,227		
鮎資源対策積立預金	10,000,000		
退職給与引当預金	16,789,045		
温水魚資源対策積立預金	1,220,606,002		
水産加工業振興対策積立預金	200,000,000		
その他の固定資産合計	1,830,170,568		
固定資産合計		1,841,170,568	
資産合計			1,850,059,502

【負債の部】			
流動負債			
未払金	2,404,500		
預り金	689,492		
流動負債合計		3,093,992	
固定負債			
退職給与引当金	16,789,045		
固定負債合計		16,789,045	
負債合計			19,833,037
【正味財産の部】			
正味財産			1,830,176,465
(うち基本金)			(11,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(42,109,014)
負債及び正味財産合計			1,850,059,502

3 収支計算書

平成 13 年 4 月 1 日から平成 14 年 3 月 31 日

単位:円

科目	予算額	決算額	差異	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	33,000	168,300	135,300	
補助金等収入	105,073,000	105,073,641	0	
負担金収入	10,200,000	10,200,000	0	
寄付金収入	150,000,000	150,000,000	0	
雑収入	36,880,000	37,313,745	433,745	
特定預金取崩収入	150,549,371	150,549,371	0	
当期収入合計 (A)	452,735,371	453,305,057	569,686	
前期繰越収支差額	4,172,629	4,172,629	0	
収入合計 (B)	456,908,000	457,477,686	569,686	
【支出の部】				
ニゴロブナ資源増大対策事業費	53,323,000	53,317,275	5,725	
情報提供事業費	110,000	30,240	79,760	
ホンモロコ資源増大対策事業費	9,320,000	9,305,599	14,401	
沿整増殖場管理事業費	2,300,000	2,300,000	0	
鮎保護水面管理事業費	929,000	929,000	0	
鮎保護水面管理事業費	1,806,000	1,806,000	0	
鮎産卵場造成事業費	2,370,000	2,370,000	0	
温水魚種苗生産支援事業費	150,000,000	150,000,000	0	
鮎人工河川管理運用事業費	43,000,000	43,000,000	0	
鮎親魚増殖放流事業費	10,500,000	10,500,000	0	
管理費	26,826,000	25,873,630	952,370	
特定預金支出	152,251,000	152,251,000	0	
当期支出合計 (C)	452,735,000	451,682,744	1,052,256	
当期収支差額 (A)-(C)	371	1,622,313	1,621,942	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	4,173,000	5,794,942	1,621,942	

4 正味財産増減計算書

平成13年4月1日から平成14年3月31日

(単価：円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	1,622,313		
退職給与引当預金増加額	2,251,000		
温水魚資源積立預金増加額	150,000,000	153,873,313	
負債減少額			
増加額合計			153,873,313
【減少の部】			
資産減少額			
固定資産除去額	7,024,500		
建物減価償却額	6,805,386		
構築物減価償却額	18,457,503		
什器備品減価償却額	10,467,987		
船舶減価償却額	426,580		
その他積立預金取崩額	150,549,371	193,731,327	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	2,251,000	2,251,000	
減少額合計			195,982,327
当期正味財産減少額			42,109,014
前期繰越正味財産額			1,872,285,479
期末正味財産合計額			1,830,176,465

5 財産目録

平成 14 年 3 月 31 日

(単位：円)

(資産の部)			
1. 流動資産			
1. 現金預金			
(1) 現金		49,708	
(2) 普通預金		5,030,852	
(3) 有価証券公社債投信		855,374	
(4) 未収金 滋賀県補助金等		2,953,000	
流動資産合計			8,888,934
2. 固定資産			
1. 基本財産			
(1) 金融債		11,000,000	
基本財産合計			11,000,000
2. その他固定資産			
(1) 建物栽培センター関係 5 棟		243,986,375	
減価償却累計額		50,945,784	
(2) 構築物		423,971,700	
初期保育施設		98,300,000	
栽培センター関係		288,753,700	
中間施設筏		36,918,000	
減価償却累計額		247,339,947	
(3) 車輛運搬具			
自動車 6 台他		6,647,055	
減価償却累計額		6,314,703	
(4) 備品		103,912,243	
減価償却累計額		91,783,645	
(5) 船舶 4 隻		7,700,000	
減価償却累計額		7,315,000	
(6) 電話加入権		257,227	
(7) 退職給与積立引当預金		16,789,045	

(8) 温水魚資源対策積立預金	1,220,606,002		
金融債 4 件	179,211,035		
社債	250,013,315		
転換社債 2 件	111,645,325		
債券 5 件	145,000,000		
投資信託	30,258,965		
びわこ銀行 普通預金	350,000,000		
滋賀銀行 普通預金	154,477,362		
(9) 水産加工業振興対策積立預金			
滋賀銀行 普通預金	200,000,000		
(10) 鮎資源対策積立預金	10,000,000		
転換社債	9,595,691		
普通預金	404,309		
その他固定資産合計	1,830,170,568		
固定資産合計		1,841,170,568	
資産合計			1,850,059,502
(負債の部)			
1. 流動資産			
1. 未払金			
沿整増殖場施設			
管理点検事業委託費等	2,404,500		
2. 預り金 社会保険料	687,992		
草津市勤労者互助会	1,500		
流動負債合計		3,093,992	
2. 固定負債			
1. 退職給与引当金	16,789,045		
固定負債合計		16,789,045	
負債合計			19,883,037
正味財産			1,830,176,465

6 平成14年度事業計画

6.1 ニゴロブナ資源増大対策事業（国・県補助事業）

ニゴロブナ漁獲量の急激な減少に対処して資源の維持と増大を図るため、種苗の生産放流を実施する。大型種苗の生産放流に重点を置き、あわせて放流効果と放流方法の改善に資するため標識調査を実施する。

放流目標：全長 2cm 4,500 千尾、全長 12cm 705 千尾

（他に、全長 12cm 145 千尾を目標に姉川人工河川養成池で試験的な生産を行う。）

6.2 ホンモロコ資源増大対策事業（県補助事業）

ホンモロコ漁獲量の減少に対して、全長 2cm、2,500 千尾（県補助分 1,750 千尾、自主放流分 750 千尾）を県の補助を受けて放流する。あわせて標識調査を実施し、放流効果を把握する。

放流目標：全長 2 cm 2,500 千尾

6.3 沿整増殖場施設管理点検事業（県委託事業・年間）

沿岸漁場整備開発事業により設置された増殖施設 13ヶ所の管理点検を行う。

6.4 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業・4月～7月）

重要温水魚の産卵繁殖場を守るため、湖北町延勝寺及び近江八幡市牧町地先の保護水面の管理、清掃を行う。

6.5 アユ保護水面管理事業（県委託事業・9月1日～11月30日）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定したアユ保護水面区域（8区域）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵ふ化を妨げる行為の未然防止のため監視等を行う。

6.6 アユ産卵場造成事業（県委託事業・8月20日～9月10日）

アユ保護水面区域（8区域）において、産卵場を耕耘することにより、産卵に適した河床を造成する。

6.7 人工河川管理運用事業（県委託事業・年間）

琵琶湖の水位低下によるアユ資源への影響を最小限に防止し、資源の維持、培養を図るため健全な購入親魚を人工河川に放流して効果的に産卵、ふ化、仔魚の流下を助長することによりアユ資源の安定化を図る。

放流親魚量：10トン

6.8 情報提供事業

インターネットによるホームページを開設し、漁業者および県民に琵琶湖栽培漁業センターの事業を中心とした水産業の情報の提供に努める。

7 平成14年度 収支予算書

平成14年4月1日から平成15年3月31日

(単価：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	82,000	33,000	49,000	
補助金等収入	100,945,000	105,073,000	4,128,000	
負担金収入	6,700,000	10,200,000	3,500,000	
寄付金等収入	0	150,000,000	150,000,000	
雑収入	15,787,000	36,880,000	21,093,000	
特定預金取崩収入	24,850,000	150,549,371	125,699,371	
当期収入合計 (A)	148,364,000	452,735,371	304,371,371	
前期繰越収支差額	4,173,000	4,172,629	371	
収入合計 (B)	152,537,000	456,908,000	304,371,000	
【支出の部】				
ニゴロブナ資源増大対策事業費	69,631,000	53,323,000	16,308,000	
情報提供事業費	110,000	110,000	0	
ホンモロコ資源増大対策事業費	11,305,000	9,320,000	1,985,000	
沿整増殖場管理事業費	2,200,000	2,300,000	100,000	
鮎保護水面管理事業費	942,000	929,000	13,000	
鮎保護水面管理事業費	1,850,000	1,806,000	44,000	
鮎産卵場造成事業費	2,370,000	2,370,000	0	
温水魚種苗生産支援事業費	0	150,000,000	150,000,000	
鮎人工河川管理運用事業費	32,000,000	43,000,000	11,000,000	
鮎親魚増殖放流事業費	0	10,500,000	10,500,000	
管理費	29,965,000	26,826,000	3,139,000	
特定預金支出	2,164,000	152,251,000	150,087,000	
当期支出合計 (C)	152,537,000	452,735,000	300,198,000	
当期収支差額 (A)-(C)	4,137,000	371	4,173,371	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	4,173,000	4,173,000	

8 役員名簿

(平成14年4月現在)

役職名	氏名
理事長	山田 新二
副理事長	川森 芳一
常任理事	平塚 忠征
理事	浅田 博之
〃	粟野 圭一
〃	池田 才次郎
〃	小川 義隆
〃	北村 勇
〃	杉本 敏隆
〃	田井中 富夫
〃	茶谷 力
〃	東 文一
〃	松井俊治
〃	松田繁雄
〃	港 長治
監事	浅井庄平
〃	辻 久一
〃	永谷 正夫

役職名	氏名
評議員	岩崎 治臣
〃	大江 孝二
〃	加藤 一男
〃	木村 忠亮
〃	小林 眞
〃	駒井 順一
〃	斎藤 龍次郎
〃	高尾 一郎
〃	辻 章一
〃	鳥塚 五十三
〃	中川 義美
〃	中山 幸雄
〃	疋田与一
〃	藤岡 康弘
〃	三田 伊弘
〃	望月 幸三
〃	森田 秀次
〃	山中 治

(50音順)